



和紙を中心とした“紙”の魅力を伝える

ゆうげんがいしゃ しんせい
有限会社 神生

創業：1964年 従業員数：16人

印西市武西154

TEL 0476-37-5105 / FAX 0476-37-5106

<https://www.shinsei-cnt.co.jp>



こんな仕事をしています。

和紙や洋紙の販売と、これを使った商品パッケージの製作を行っています。お客さまから商品に合うパッケージを作りたいとの依頼を受け、その商品情報を聞き、大体のイメージをふくらませてから紙の見本帳でお客さまに提案します。試作品を作成し、その中から一つを選んでいただきます。印刷、加工、商品の検品や仕上げ、梱包、配送までを行っています。



働く人にインタビュー

父のあとをつぎ、この仕事に就きました。それぞれの商品に合った、最高の一枚を見つけることを心がけています。そのために、新しい紙の色や厚さ、手触りなどの特徴をいつも勉強しています。だれもが知る“紙マイスター※”となり、みんなが喜ぶようなパッケージを作り、いろいろなお店に使ってもらうことが目標です。

代表取締役 菅澤 洋 さん



※マイスター：その道を極めた人

例えば…
こんな人に向いているよ

- 計算が得意で、間違いに気付ける人
- 色の組み合わせに興味のある人
- ものをすることが好きで、責任感のある人
- 何事にもチャレンジする心を持っている人

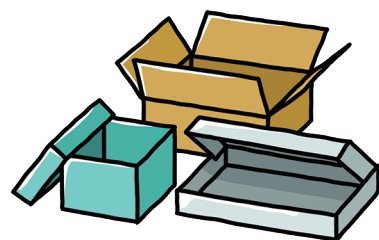
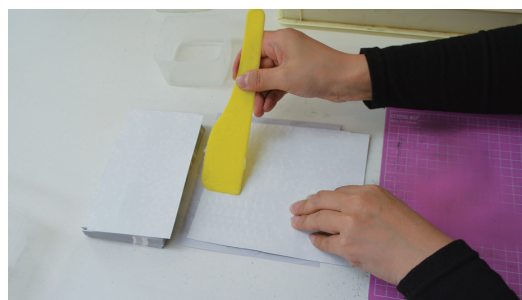


依頼を受けてから、製品を届けるまでの流れ

お客さまから、商品に合うパッケージを作りたいと依頼を受けます。



試作品の中から一つを選んでもらい、それがいくらかかるのかを計算。



紙の色や厚さ、パッケージの形や大きさなどを決めて試作品を作成します。



「マイクロメーター」という紙の厚さを測る機械も使います。

本番印刷、加工の作業を行います。

手仕事による検品、仕上げ作業、梱包を行い、指定の場所に配送します。



どんなものを作っているの？

お香を入れる箱



お客さまからの要望を受けて設計図をかき、その通りに試作品を作っている段階です。サイズや、色の感じが良いかなどを最終チェックしています。

円柱状のものを入れる箱



ロウソクのような形をしたものを入れるための箱です。陶器など割れやすいものは穴の中にはめこんでおさめるデザインになっています。

カタログ



こちらは、冷凍冷蔵車を取りあつかう会社のカタログで、中にはいろいろな車がのっています。神生では、表紙のデザインなども行っています。



和紙にはこんな色があります

色と名前を結んでみよう！

和紙にはさまざまな色があり、神生が取りあつかっている和紙の色の数は約3000種。その一例をあげてみたよ。どれがどの色か分かるかな？

- | | | | |
|---|--|---|----------|
| 1 | | ● | ● くれない |
| 2 | | ● | ● えどむらさき |
| 3 | | ● | ● あんず |
| 4 | | ● | ● おいみどり |
| 5 | | ● | ● すみ |
| 6 | | ● | ● きなり |
| 7 | | ● | ● うすむらさき |
| 8 | | ● | ● ひわ |